



新幹線開通を一年後に控えたまちづくりの現状と課題、今後の対応について

質 問
交流人口の拡大に向け、市

長公約のチーム糸魚川の能力をどう発揮させていくのか。全国で地域おこし活動が懸命に行われている中、糸魚川の良さを認識した交流人口拡大のソフト戦略について伺う。

また、ハード整備についてはその後のソフト面の展開と合わせた全体構想が大切であるが、糸魚川駅周辺及び中央大通り線の整備の進捗状況と完了後のイメージについて伺う。

市長答弁

チーム糸魚川については、当面は、市全体のチームワークを高める活動と、糸魚川を知り、糸魚川に愛着を持ってもらえるような活動を行っていきたくと考えている。チーム糸魚川としての一体感が醸成できた後に、次のステップとして、産業おこし、定住、交流人口拡大などの取り組みを検討していきたい。

交流人口の拡大については、糸魚川ジオパーク特有の知的満足度の高さを活かした修学

旅行や体験学習事業等の誘致促進、食や地酒などを組み合わせた個性豊かなツアー商品の開発、提案に取り組んでいく。

また、糸魚川駅周辺整備については、北口駅前広場は8月頃、糸魚川駅前通りは年内に完了の予定である。駅前通りについては、道路としてだけでなく、人が集まり、どのように楽しめるかを商店街と一体となって取り組んでいきたい。

中央大通り線の市道上刈白



糸魚川駅前アーケード完成予定図

馬通り線から国道148号までの区間については、年内の供用開始を目標に工事が進められている。同線全通後は商店の立地がさらに進み、他のエリアの商店街のあり方が課題になってくるものと捉えている。



市における各種データの収集整理と活用について

質 問

人口減少や景気低迷により国内観光が伸び悩みの傾向に

ある中で、観光統計のデータを戦略的に活用し、来訪者の増加や消費の拡大につなげている観光地もあった。観光客の行動の正確な把握・分析により、何が足りず、何が必要なのかを明らかにすることは、効果的な観光施策にもつながるものと考えますが、その取組状況はどうか。

また、国は、オープンデータ(公共データの公開、活用)を積極的に推進している。

オープンデータは行政の透明性・信頼性の向上、協働の

推進、経済の活性化、行政の効率化などが図られるとされているが、市の取り組みの状況について伺う。

市長答弁

観光データの収集については、主要ジオサイトにおいて観光動態調査を実施しており、満足度や旅行消費額、再来訪の意向などを把握・分析し、受入態勢の検討の参考としている。また、市全体では、10種類に区分した観光入込拠点の統計をとっており、特に宿

泊数は観光の重要な指標としてホームページで公開し、自由に閲覧できるようにしている。

オープンデータについては、2次利用が容易な年齢別人口データや決算状況などの情報を今年度から試験的に公開しているが、今後も市内の基礎的な統計情報や地図情報など、できるものから順次データを公開していきたいと考えている。

また、市の統計情報等は、冊子の刊行やホームページで

の公表により、市民生活で幅広く活用していただけるように努めている。

